

議題（２）運行ルートの検討について

１．市民部会での検討経過

国からの補助が廃止される平成 25 年度以降における持続的な運行を実現するためのオレンジゆずるバスのあり方について、効率的・効果的な見直しに関する意見交換を行った。

これまでの市民部会での意見交換の内容

【１．方向性について】

- 現在のルートが市民生活に根付いているが、持続的な運行を実現するための見直しはやむを得ない。
- “市立病院”と“松寿荘”は必ず経由するべきだと思う。

【２．青ルート】

- オレンジゆずるバスの役割を考えると、箕面駅よりも市立病院や松寿荘を重視したルートにした方が良いのではないかと。したがって、西部地域からは箕面駅を経由せず、中部地域へ直通するルートを検討してほしい。
- かやの中央から青松園前までのルートについて、直接北上して山麓線に入った方が効率的ではないか。
- 粟生間谷地区については、坂道も多く、バスの役割もあると思う。地域住民の意見も確認したほうが良いのではないかと。ただ、全てのニーズに応えるためのバス停配置になっており、非効率だと思う。

【３．赤ルート】

- 萱野北小学校前から青松園方面については、阪急バスでの代替が可能であり、利用者数の観点から見直しの余地があるのではないかと。
- 粟生地域から小野原東地域への南北移動については、利用者数の観点から見直しの余地があるのではないかと。ただ、代替機関が十分でないため、地域意見や専門的知見も含めて、結論を出してほしい。
- 赤ルートについては、小野原東地域まで運行しているため、運行距離が長い。渋滞に巻き込まれるなど、遅延の原因になっているのではないかと。

【４．黄ルート】

- 小野原地域での運行ルートについては、東西方向である程度、経路を統一した方が分かりやすく、利便性が高まるのではないかと。
- １便あたり２回も箕面駅やかやの中央を経由する必要性は少ないのではないかと。

2. 第7回専門部会（10月18日（木））での検討内容

第11回ならびに第12回市民部会での検討経過を受けて、第7回専門部会では以下の検証ポイントを設定し、専門的な観点から意見交換を行った。

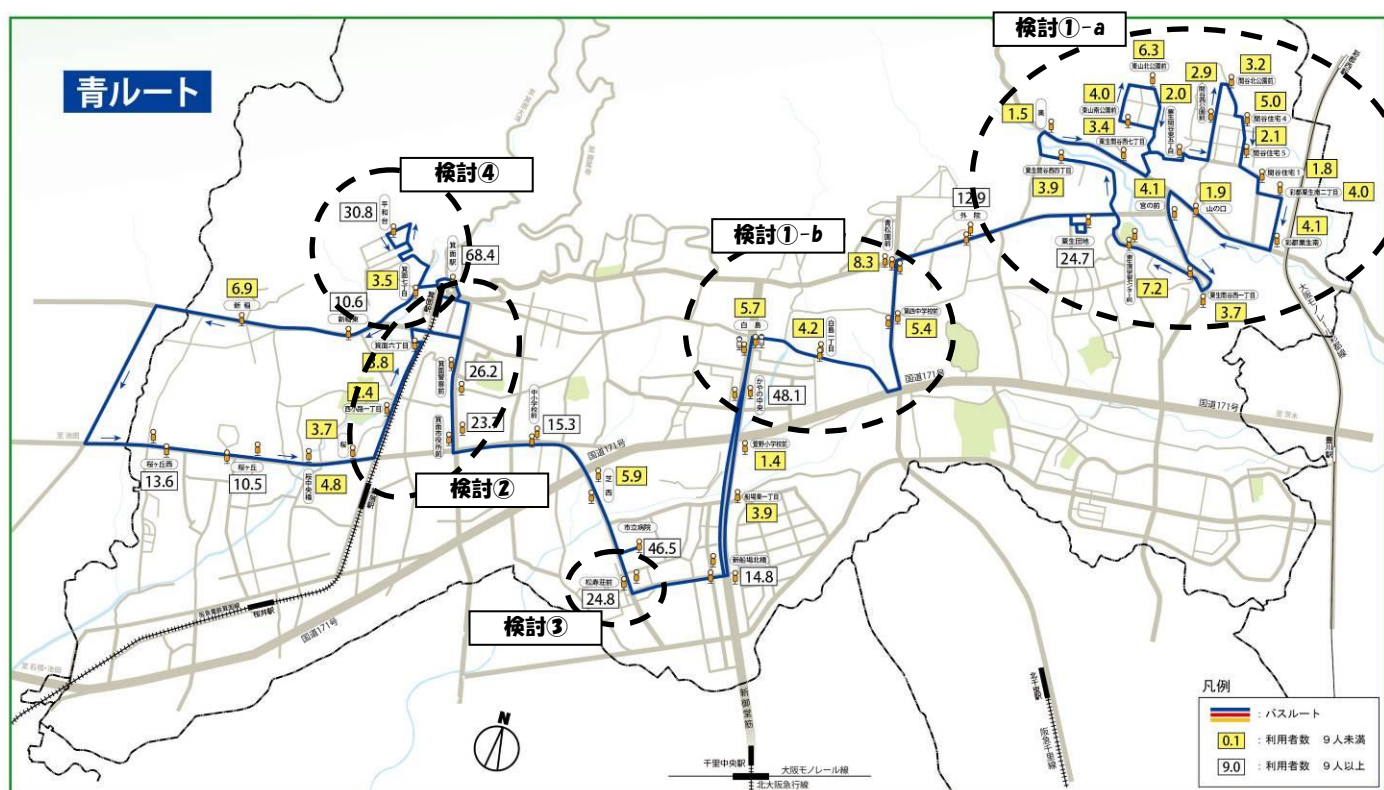
ルート名	検証ポイント
青	① 利用者の少ないバス停のショートカットについて a. 栗生間谷地区 b. かやの中央－青松園前間 ② 西部地域から“箕面駅”へのアクセスについて ③ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて ④ 平和台でバス停増設について※
赤	① 利用者の少ないバス停のショートカットについて a. 萱野北小学校前－青松園中央間 ② 東部地域の南北ルートについて ③ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて
黄	① 利用者の少ないバス停のショートカットについて a. 小野原東地域 ② 西部地域ならびに東部・中部地域からの“箕面駅”へのアクセスについて ③ 西部地域ならびに東部・中部地域からの“かやの中央”へのアクセスについて ④ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて ⑤ 豊川駅へのアクセスについて※

※ 地元自治会等からの要望が強く寄せられていたため、検証ポイントに追加した。

3. 運行ルート（案）の作成

第11回ならびに第12回市民部会での検討経過をまとめたルート案に対して、第7回専門部会では次頁以降のとおり、検証結果を得た。

（1）青ルート



検討① 利用者の少ないバス停のショートカットについて

a. 栗生間谷地区

b. かやの中央－青松園前間

検討② 西部地域から“箕面駅”へのアクセスについて

検討③ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

検討④ 平和台でバス停増設について

①-a. 粟生間谷地区について

市民部会での意見交換内容

- 粟生間谷地区については、坂道も多く、バスの役割もあると思う。地域住民の意見も確認したほうがいいのではないか。ただ、全てのニーズに応えるためのバス停配置になっており、非効率だと思う。

市民意見(アンケート結果)

- 粟生間谷地区の居住者については、約 64%が“オレンジゆするバスが必要だと思う”と回答しており、他地域に比べて、“必要”と考える人が多い地域となっている。
- 粟生間谷地域の居住者における非利用者については、利用しない理由として“目的地まで時間がかかる”ことを最も多く挙げている。全てのニーズに応えるためのバス停配置により、遠回りのルートになっていることが非利用に起因していると考えられる。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- ショートカットできる区間も比較的長いため、一定の効果は期待できる。
- ショートカットを実現したうえで、比較的利用者の多い粟生間谷西四丁目の利用者に対しては、ショートカット上にバス停を新設することで利便性の維持に努めることが望ましいのではないか。

【区間2について】

- 影響を受ける利用者総数が比較的多いことを考慮すると現状を維持することが望ましいのではないか。

【区間3について】

- ショートカットできる距離が短いため、運行経費の削減効果は期待できない。
- また、彩都西からの歩行者も利用できることから、今後の利用者増も期待できる。そのため、現状を維持することが望ましいのではないか。

【区間4について】

- ショートカットできる区間も比較的長いため、一定の効果は期待できる。
- 別ルートでの代替可能な利用者が多く、ショートカットによる代替が困難となる粟生間谷地域からの利用者が少ない（3人/日）ため、ショートカットを実現してもよいのではないか。
- なお、宮の前バス停については、移転によりショートカット後でも利用可能にできると考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案



①-b. かやの中央－青松園前間

市民部会での意見交換内容

- かやの中央から青松園前までのルートについて、直接北上して山麓線に入った方が効率的ではないか。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 運行の安全性からみても、見直し案の方が望ましいと考えられる。ただし、現行の路線バスへの影響を考える必要がある。

専門部会における検証を踏まえたルート案



②. 西部地域から“箕面駅”へのアクセスについて

市民部会での意見交換内容

- オレンジゆずるバスの役割を考えると、箕面駅よりも市立病院や松寿荘を重視したルートにした方がよいのではないか。西部地域からは箕面駅を経由せず、中部地域へ直通するルートを検討してほしい。

アンケート結果の概要

- 青ルートの利用者については、箕面駅への立ち寄りについて、半数以上が“見直してもよい”と回答している。

市民意見を踏まえたルート案

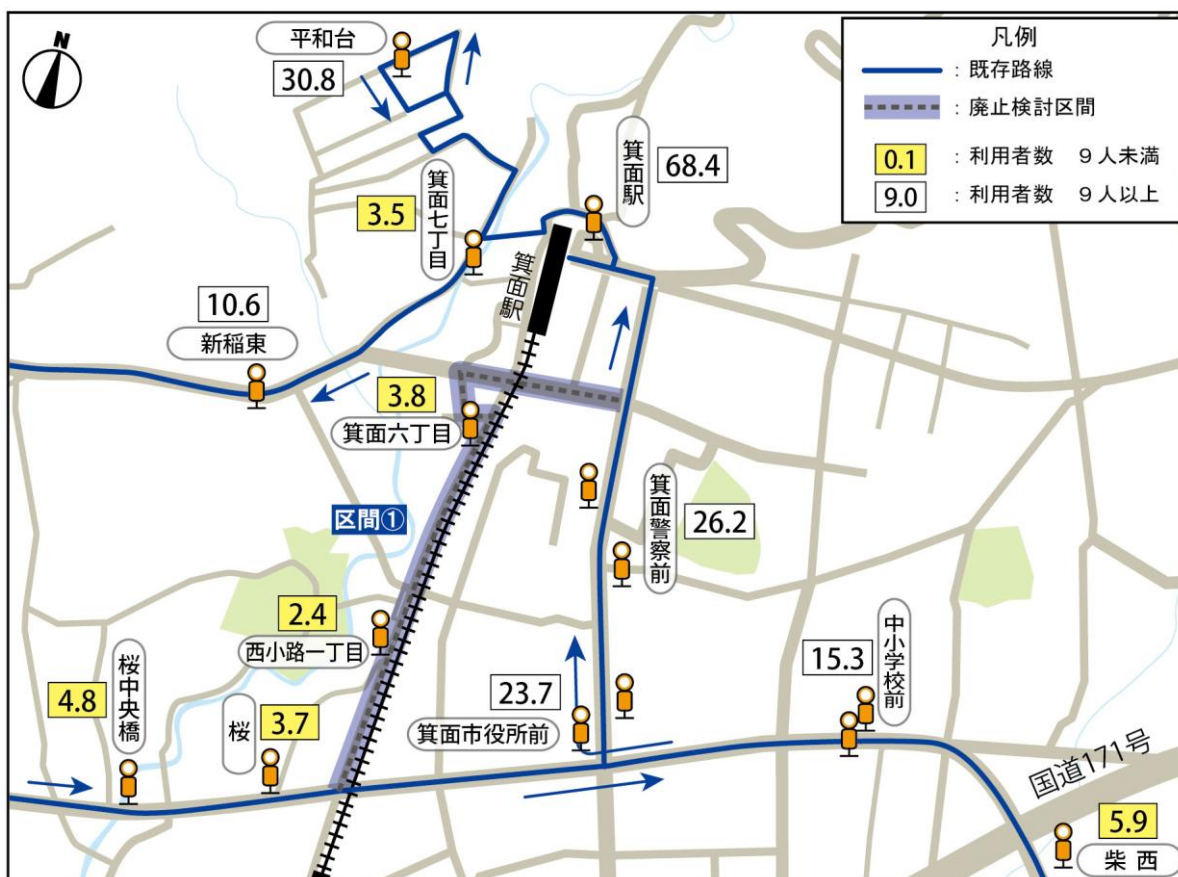


専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 交通渋滞の多い地域への進入を避けることができるのは、運行管理上望ましいと考えられる。
ただし、現行の路線バスへの影響を考える必要がある。

専門部会における検証を踏まえたルート案



③. 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

市民部会での意見交換内容

- “松寿荘” は必ず経由するべきだと思う。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 利用者ニーズを考えると、松寿荘については必ず立ち寄るべきである。

専門部会における検証を踏まえたルート案



④. 平和台でバス停増設について

地元要望の概要

- 平和台地区内でのルート変更、バス停の増設をしてほしい。

市民意見を踏まえたルート案

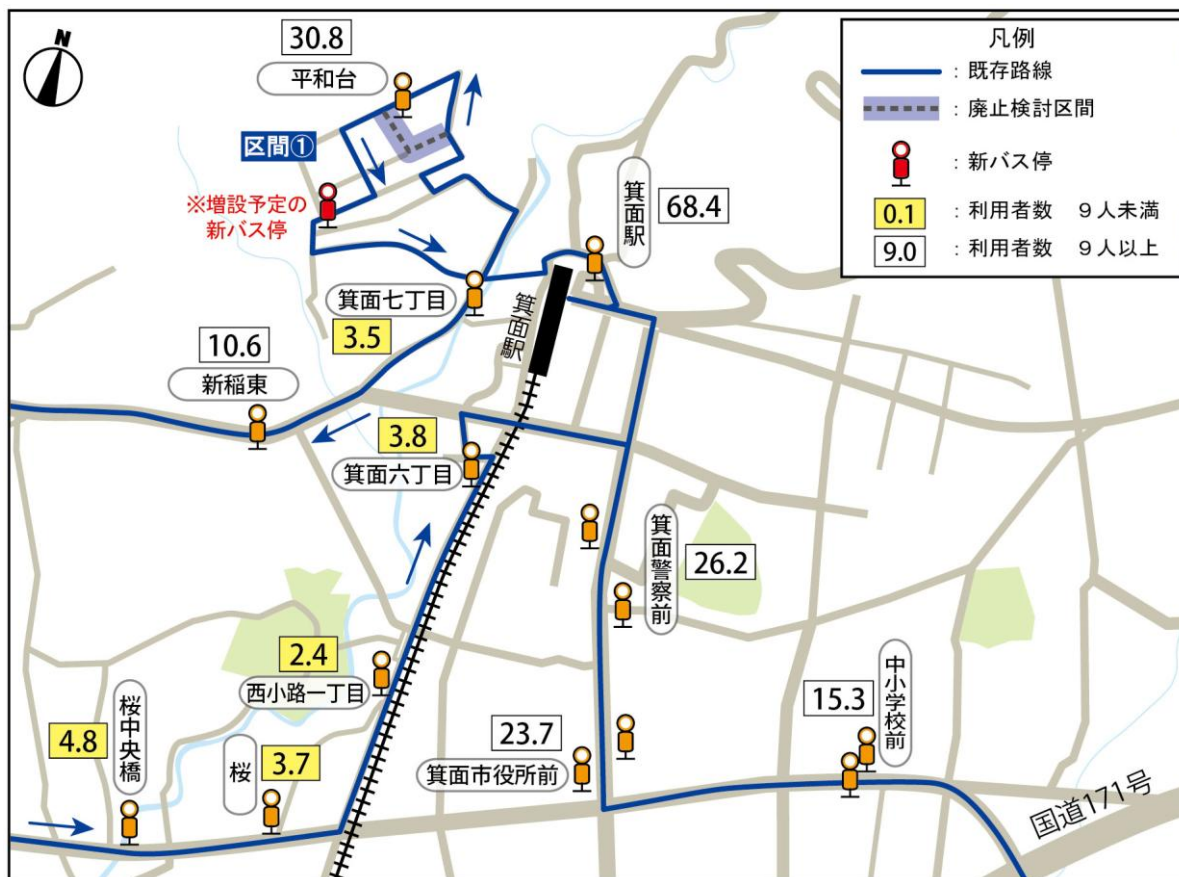


専門部会における専門的観点からの見解

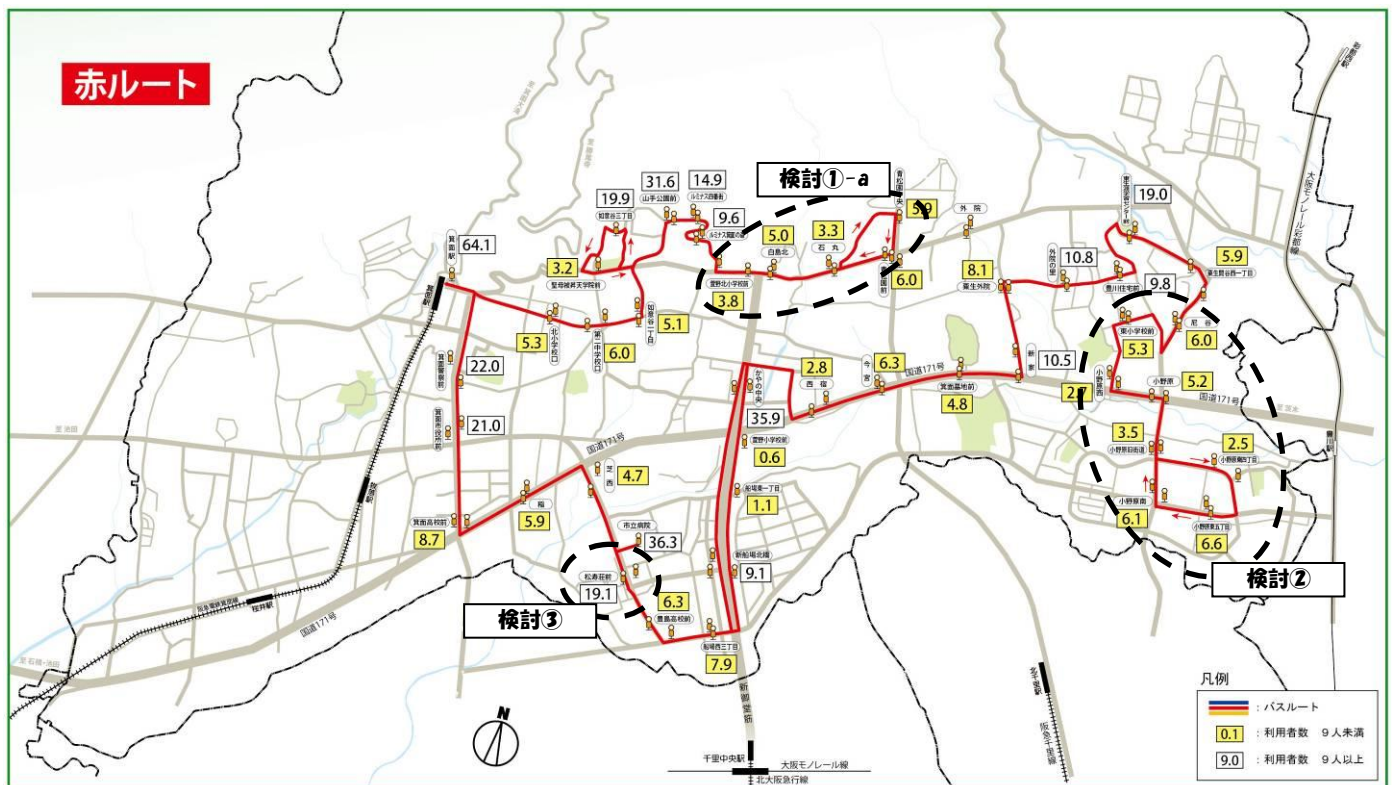
【区間1について】

- 坂道が多く、狭隘な区間もあるので、バス停の設置場所も含めて、運行安全上の検討が必要である。
- ただ、ルートを見直した場合でも、運行経費への影響は少ないと考えられることや、当該地区の居住地からの新規需要を見込めるため、前向きに検討すべきと考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案



(2) 赤ルート



検討① 利用者の少ないバス停のショートカットについて

a. 萱野北小学校前－青松園中央間

検討② 東部地域の南北ルートについて

検討③ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

①-a. 萱野北小学校前－青松園中央間について

市民意見の概要

- 萱野北小学校前から青松園方面については、阪急バスでの代替が可能であり、利用者数の観点から見直しの余地があるのではないか。

アンケート結果の概要

- 石丸・白島地区の居住者については、約61%が“オレンジゆずるバスが必要だと思う”と回答しており、他地域に比べて、“必要”と考える人が多い地域となっている。
- 一方、石丸・白島地区の居住者における非利用者については、“車、バイク、自転車での移動が便利”であることを理由に挙げており、代替手段を有している回答者が多いと考えられる。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 対象距離も長く、利用者も少ないことから、見直しの効果はあると考えられる。
- また、青ルートの見直しとあわせて実現すれば、サービス低下の影響はさらに小さいと考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案

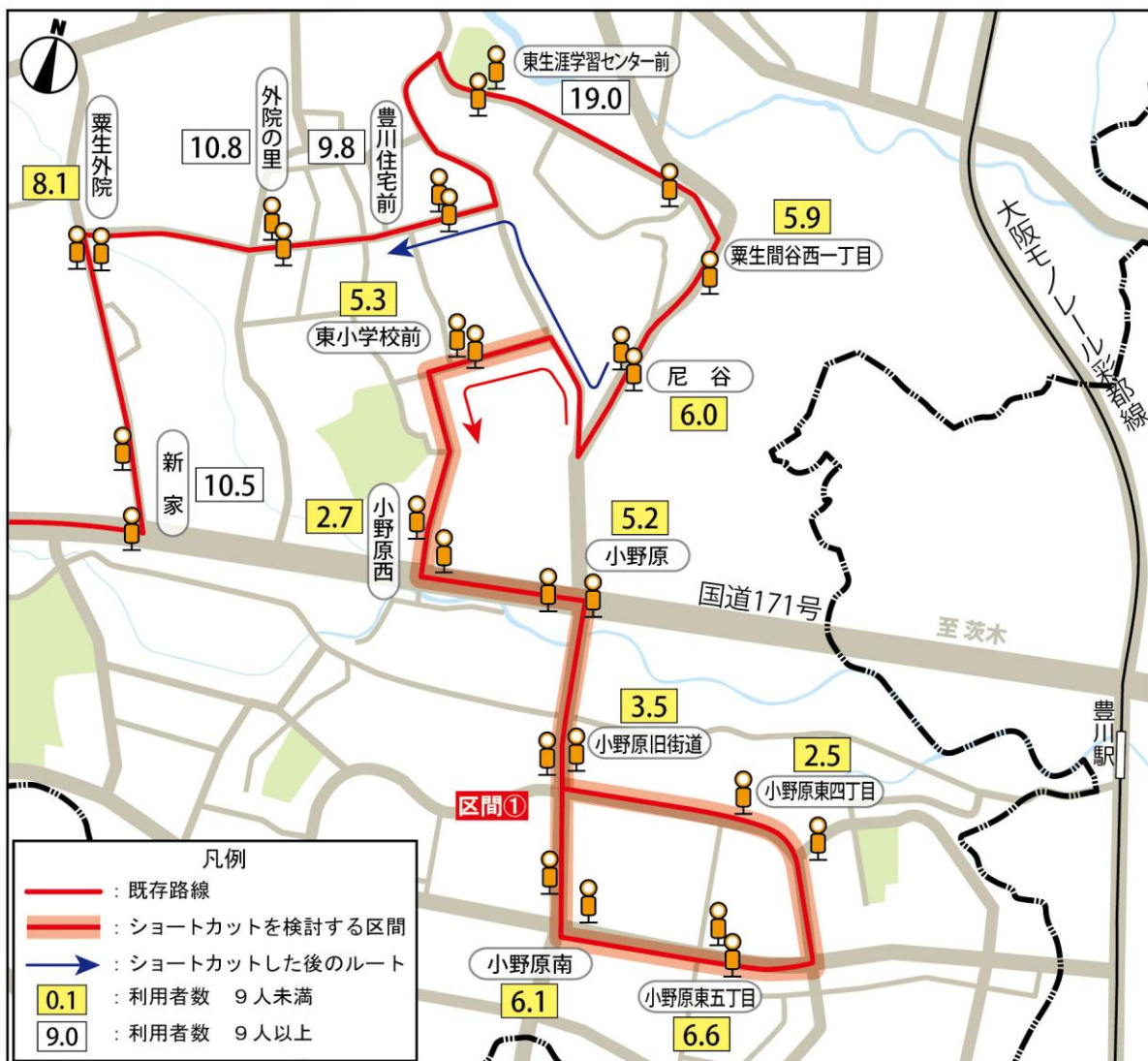


②. 東部地域の南北ルートについて

市民意見の概要

- 栗生地域から小野原東地域への南北移動については、利用者数の観点から見直しの余地があるのではないか。ただ、代替機関が十分でないため、地域意見や専門的知見も含めて、結論を出してほしい。
- 運行距離が長いことが、遅延の原因になっているのではないか。

市民意見を踏まえたルート案(1)



市民意見を踏まえたルート案(2)

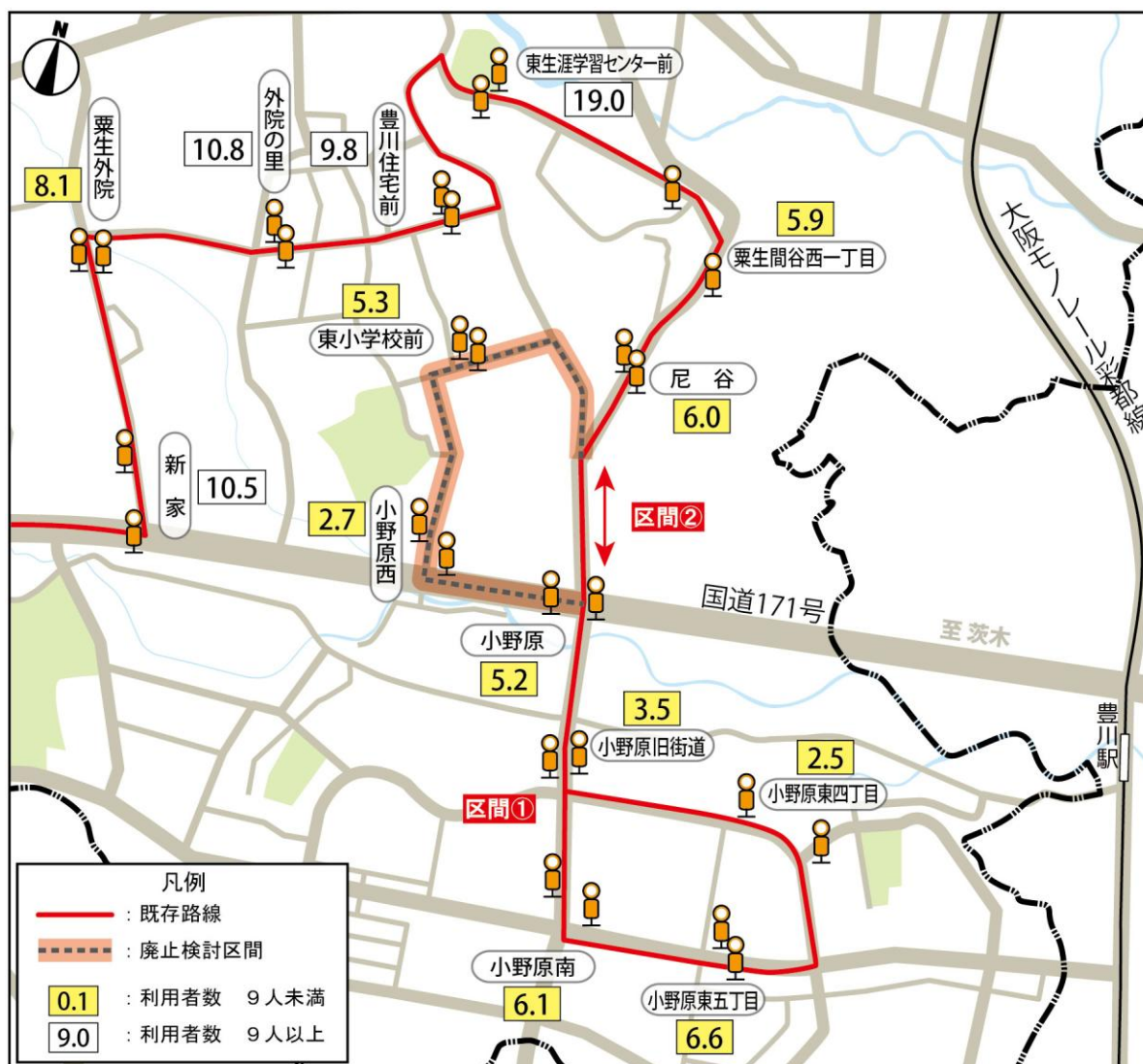


専門部会における専門的観点からの見解

【区間1ならびに2について】

- 公共施設への移動を支える目的があるため、南北移動は現状維持が望ましいのではないか。
- ただし、運行時間を短縮するため、東小学校前と小野原西についてのショートカットは実現してもよいと考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案



③. 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

市民部会での意見交換内容

- “松寿荘” は必ず経由するべきだと思う。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

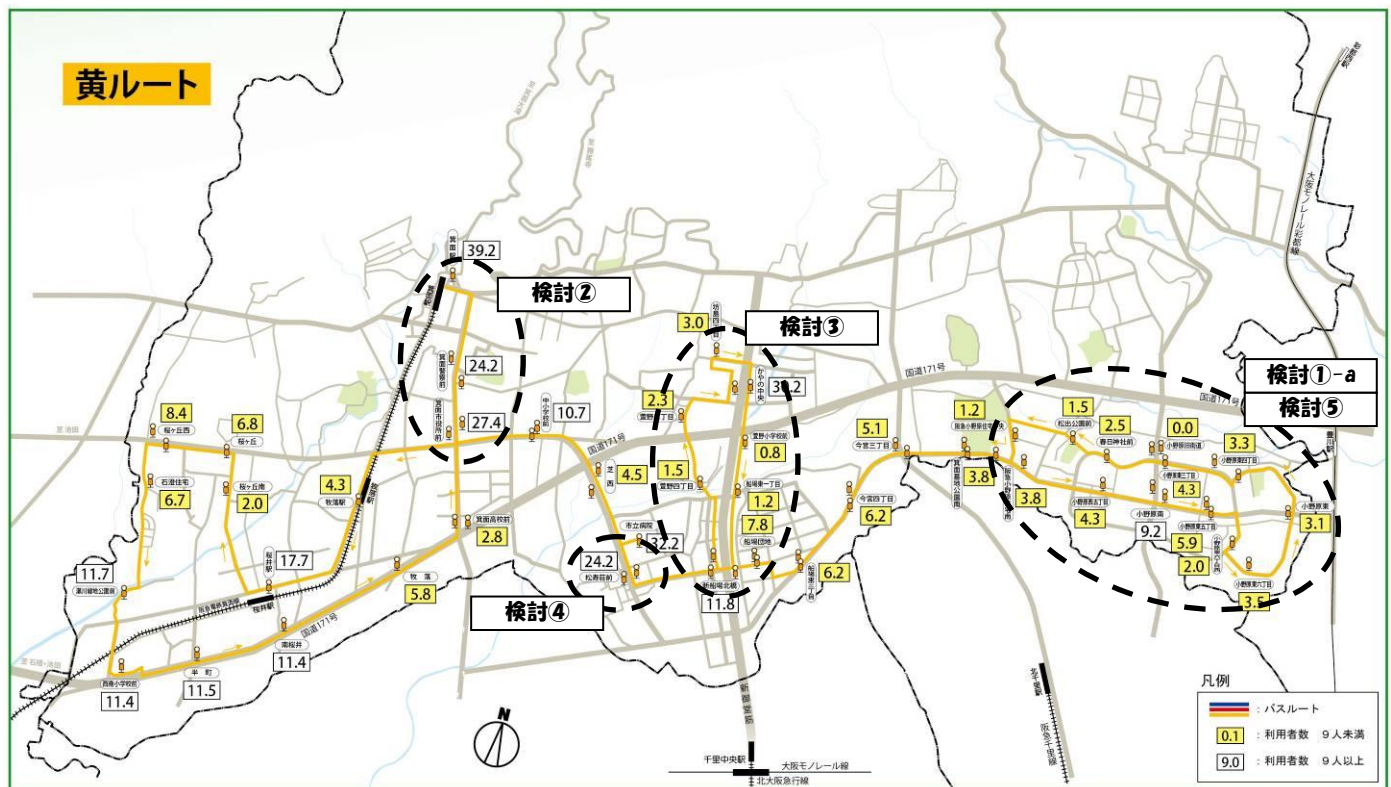
【区間1について】

- 利用者ニーズを考えると、松寿荘については必ず立ち寄るべきである。

専門部会における検証を踏まえたルート案



(3) 黄ルート



検討① 利用者の少ないバス停のショートカットについて

a. 小野原東地域

検討② 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“箕面駅”へのアクセスについて

検討③ 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“かやの中央”へのアクセスについて

検討④ 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

検討⑤ 豊川駅へのアクセスについて

①-a. ならびに ⑤. 小野原東地域について

市民意見の概要

- 小野原地域での運行ルートについては、東西方向である程度、経路を統一した方が分かりやすく、利便性が高まるのではないかな。
- 鉄道拠点とのアクセス性を考慮して、豊川駅への運行も検討してはどうか。

アンケート結果の概要

- 小野原地区の居住者については、半数以上が“利用者の少ないバス停やルートの廃止に賛成できる”と回答しており、他地域に比べて、見直しに対する賛同の高い地域である。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 運行経費への効果は少ないが、安全上の観点からみると、見直しルート案の方が望ましいと考えられる。
- また、新たな公共施設（多文化交流センター）が地点Aに開設されるのであれば、新たな需要も見込まれるため、見直しを実現すべきと考えられる。

【区間2について】

- 利用者が少ないため、ショートカットを実現してもよいと考えられる。
- また、新たな公共施設である多世代交流センターが地点Bに開設されているのであれば、新たな利用者のニーズに応えることがルート見直しに相応しい。安全上の検討は別途必要であるが、見直しルート案よりも一筋南側の道路を経由し、バス停を新設することが望ましいのではないかな。

【区間3について】

- 豊川駅へ新たにアクセスする必要性は少ないと考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案



②. 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“箕面駅”へのアクセスについて

市民意見の概要

- 一方、1便あたり2回も箕面駅やかやの中央を経由する必要性は少ないのではないか。

アンケート結果の概要

- 黄ルートの利用者については、箕面駅への立ち寄りについて、約6割が“見直してもよい”と回答している。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- また、見直しを実現するためには、バス停の移設位置の検討が難しい。
- また、箕面駅や箕面警察への利用者数を考えると、当該地区におけるサービス低下は避けた方がいいと考えられる。

専門部会における検証を踏まえたルート案



③. 西部地域ならびに

東部・中部地域からの“かやの中央”へのアクセスについて

市民意見の概要

- かやの中央を利用する人にとっては、利用可能な本数が多く、利便性が高い一面もある。
- 1便あたり2回もかやの中央を経由する必要性は少ないのではないか。

アンケート結果の概要

- 黄ルートの利用者については、かやの中央への立ち寄りについて、76%以上が“見直してもよい”と回答している。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 小野原東地域からの利用については、現行の赤ルートを利用できる環境が維持できるのではあれば問題ないのではないか。
- 西部地域からのアクセス性が低下する問題については、ルートの付け替えも含めて検討することで、改善できるのではないか。
- 上記のような対応を実施しても、乗継が発生する利用者が一部発生すると考えられるが、乗継利便性の検討をあわせて実施することで、補完できるのではないか。

専門部会における検証を踏まえたルート案



④. 松寿荘移転にともなうルート見直しについて

市民部会での意見交換内容

- “松寿荘” は必ず経由するべきだと思う。

市民意見を踏まえたルート案



専門部会における専門的観点からの見解

【区間1について】

- 利用者ニーズを考えると、松寿荘については必ず立ち寄るべきである。

専門部会における検証を踏まえたルート案



(4) 全ルート

ルート図



運行概要

	区間長	現行比	想定される 所要時間	現行比
青ルート	26.2 km	(-3.0 km)	127 分	(-15 分)
赤ルート	30.0 km	(-5.0 km)	135 分	(-22 分)
黄ルート	24.7 km	(- 6.2 km)	115 分	(- 29 分)

【参考】各ルート別



4. 全体ルートに関する検証

専門部会における専門的観点からの見解

- 青ルートの見直しによる白島一丁目のサービス低下を防ぐことや、国道 171 号の渋滞区間における運行距離を極力少なくすることを考えると、赤ルートにおけるかやの中央 - 箕面墓地前間のルートを白島一丁目経由にした方がいいのではないか。
- 東部地域からかやの中央へのアクセスを効率的に行うことや、西部南地域からのかやの中央へのアクセス性を維持することを考えると、赤ルートと黄ルートを中部地域で付け替えた方がいいのではないか。

ルート図



運行概要

	区間長	現行比	想定される 所要時間	現行比
青ルート	26.2 km	(-3.0 km)	127 分	(-15 分)
赤ルート	22.7 km	(-12.3 km)	102 分	(-55 分)
黄ルート	32.0 km	(+ 1.1 km)	148 分	(+ 4 分)

以上に示す運行ルート(案)を市民意見(市民部会)、専門的な観点(専門部会)をとりまとめた“分科会(案)”とする。なお、1便あたりの運行距離など、総合的な観点から調整が必要な場合は、事務局で検討のうえ、協議会に諮るものとする。

【参考】各ルート別

